|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 2024第1,2,3 RUTC答えの永遠(24)　 (社)世界福音化伝道協会　www.weea.kr | | |
| 2024年6月15日　週間祈りカード | | |
| △産業宣教  未来を見た産業人(ロマ16:25-27) | △RTとTCK伝道学  未来を持ったレムナント(創37:1-11) | △核心  未来を味わう伝道弟子(使1:3) |
| □序論  1.Healing House (Iコリ16:19、使16:15、16-18)イエス様も、パウロも、初代教会でも癒やしの働きが起こった。  2.TCK House劣悪な環境の中にいたTCKを育てることができてこそ多くの答えが起きる。  3.Holy Masonこの単語を握って世界的な神殿を作った。  □本論  1.過去の癒やし  1) Covenant(福音)正確な契約である福音を先に握るべき  2) Vision(わざわい)福音を悟れば、あちこちにわざわいが見える。これ悟ることがビジョン  3) Dream(24) 24する祈りの課題を確かに握ることがドリーム  4) Image(25)神のかたちとして創造されたのを回復すること。これが25  5) Practice(永遠)産業が福音のために用いられるようになり、それがプラクティスで、永遠  2.過程  1)出2:1-10聖書にとても重要な時刻表ごとに用いられる。  2)Iサム1:9-11正確に握った契約の祈りが時代を変える。  3)Iサム16:1-13この契約一つにイスラエルが生かされる。  4)I列18:1-15契約を正しく握った重職者(オバデヤ)が預言者を助けた  5)使1:1-8オリーブ山で与えられた最後の契約(神の国のこと)を40日間説明  3.次世代 信仰の足跡を残しなさい  1)創41:38未信者ファラオが主の霊の宿る者ヨセフを見た。  2)出3:18-20正確な時刻表に出て来る。  3)Iサム16:1-13サムエルとエッサイが握った契約がダビデに伝達。  4)ダニ1:8-9イザヤの預言をダニエルが握った  5)使17:1、18:4、19:8、ロマ16:25-27キリストでなければならない理由、礼拝と祈り、まことの答えである神の国について説明。すると、ロマ16:25-27に神様が隠されていたことを与えてくださる  □結論  1.遠くにあることを見るのがビジョン  2.遠くにあることが近くに来ることが祈り  3.遠くにあることが私のことになるべき  4.遠くにあることが近くに来れば、今日が未来として見える。  5.この時間は御座の時間。困難の中にあっても、その困難は皆さんを食い尽くすことができない。皆さんの中に宝を入れられ、神様のいのちがあるためだ。 | □序論   |  |  |  | | --- | --- | --- | | やぐら-見張り人  旅程-福音化  道しるべ-絶対やぐら | 霊的サミット | RT -あらかじめ準備  TCK - 5000組織 |   △私たちを見張り人として立てられた。ところで、このやぐらは単なるやぐらではなくて、動くのだ。それゆえ、旅程は福音化、道しるべは絶対やぐらを建てることだ。それゆえ、必ず霊的サミットに先になる必要がある。また、レムナントは、この祈りを味わって卒業前にあらかじめ準備しなければならない。出て行ってからすれば遅い。それで祈りなさいということだ。TCKは5000種族組織をあらかじめ作りなさい。  □本論  1.創37:1-11ヨセフはあらかじめセッティングされたのだ。その後に困難が来ても、来なくても答えだ。  2.出2:1-10モーセが幼いとき、あらかじめ準備した。ある日、神様ができる力を与えられたのだ。  3.Iサム3:1-19サムエルがあらかじめ準備した。世界を動かしたレムナントの特徴だ。  4.Iサム16:1-13ダビデをあらかじめ準備させられた。これから王になる。そして、契約の箱と神殿の話をしたのだ。勉強がビリでも、あらかじめ準備した人が勝つ。  5.Ⅱ列2:9-11これを知るようになった人がエリシャだ。それゆえ、他のことは必要なくて、神様の力、霊を二倍くださいと言ったのだ。  6.ダニ1:8-9ダニエルに確かに働きが起こる。  7.会堂-パウロが会堂に入って準備させたが、これが流浪民族時代を生かした。  □結論\_専門化、世界化、福音化  福音化にならなければ、世界福音化は難しい。世界化、福音化になってこそ世界福音化になるのだ。その前に準備しなければならないことが専門化だ。 | □序論\_重要なこと  50%困難  1.病気(癒やすことができる答えがあるべき)  2.貧困(刻印・根・体質になったのが問題、初代教会で集中させたことを見るべき)  3.無アイデンティティ(身分、権威が分からないこと)  50%重職者  1.Healing House 　　2.TCK House 　　3.Holy Mason(足跡、記念館)  RT  1.タラント(あらかじめ準備) -上から与えられることなので祈りなさい。  2.学業(237と合うべき)  3.職業(5000種族と合うべき)  Covenant -これを置いて本格的な契約が握れるようになる。  Vision -この中から出てくるビジョンであるべき。  これをどのように成し遂げるかが重要だ。  □本論\_すべてのことをしていくとき、イエス様が与えられたとおりすべきだ。  味わい-この祝福(序論)を続けて味わって、神の国が成り立てば、それが答えだ(使1:8、3)。  1.やぐら24 (Dream)  環境を見て行くのではなく、三位一体の神様が導かれるとおりに。私の力でなく、神様の力で。私の背景でなく、御座の力で。私の水準でなく、神様が与えられる力で。私の運命でなく、３時代を征服するその答えで。私の環境でなく、空中の権威を持つ者に勝つ力で。神様が与えられるCVDIPで。目的は三つの庭を成し遂げに行く。  2.旅程25 (Image) -神様のいのちの力である神のかたちを重ねて受ける道を行く。私の環境でなく、三位一体の神様が働かれる道に行く。私の条件でなく10の奥義。私の状況でなく10の土台。私の現実でなく、５つの確信を持って行くのだ。人の状況でなく、神様が与えられた９つの流れ。今日でなく、一生の答えによって。地にあることではなく、御座のキャンプだ。  3.道しるべ永遠(Practice) -あちこちを生かす絶対やぐらが建って永遠の作品が出て来る。  私たちはどこへ行くのか。私の運命を完全に解決したカルバリの丘の契約へ。私の時代、運命を変えるオリーブ山のミッションへ。私の力を完全に変えるマルコの屋上の部屋へ。時代の運命を変えたアンティオキアへ。イスラエルと教会史の運命を変えるアジアへ。マケドニアの運命を変えるトロアスからマケドニアへ。世界の運命を変える、ローマへ。  △キリストが与えられたやぐら・旅程・道しるべを祈って味わっていれば良い。皆さんが行く道には、さまざまなことがあるだろう。しかし、福音は止めることはできない。 |
| △散らされた弟子たち  未来を伝達する者(使 11:19) |
| Missions Houseどのように作るのかを見よう。  使11:19重職者が。「ステパノのことから起こった迫害により散らされた人々は」  使13:1-5歴史上、初めて起こった。ここに重職者入っている。  使16:6-10マケドニアに。  使19:8、21 「神の国のこと」会堂へ。「ローマも見なければならない」  AD70福音を最後まで防いだイスラエルはなくなる。福音を持っている人は全世界に広がる。  AD313ローマがキリスト教を国教として宣言する。このように歴史はひっくり返る。  中世時代とその後。また、福音がなくなったが、神様は福音を持っている散らされた弟子たちを通して、再び福音を回復させた。今も神様はこの答えを成し遂げておられる。 |
| 2024第1,2,3 RUTC答えの永遠(24)　 (社)世界福音化伝道協会　www.weea.kr | | |
| 2024年6月16日　週間祈りカード | | |
| △区域メッセージ第24週  空中の権威を掌握する力と永遠の答え(エペ2:2、6:10-20) | △聖日１部  霊に属する者、肉に属する者(Ⅰコリ3:1-9) | △聖日２部/神殿建築礼拝  霊的神殿を先に建てるべき(Ⅰコリ3:10-16) |
| 空中の権威を持つ者がいるので、神様が空中の権威を掌握する力と勝つことができる祈りを与えてくださった(エペ6:10-20)  □序論\_霊的世界　運命、未来  人間の運命と未来は、目に見えない霊的世界でみな変わって、決定される。  1.サタン-空中の権威を持つ者  1)三つの事件-サタンがエデンの園に現れてアダムとエバを倒して、ネフィリム時代を作って洪水時代に滅ぼされるようにして、バベルの塔を作って滅びるようにさせた。  2)３団体-ニューエイジで教えるおもな内容が、エデンの園と同じで、フリーメイソンは憑依、ユダヤ人は全世界組織を持ってバベルの塔を築く  3)霊的問題が度々来る。また、次世代がほとんど精神病になる可能性が多い。  2.それゆえ、イエス様はものすごい霊的武器を与えてくださった  1)やぐら-オリーブ山で40日間、神の国のことを説明。やぐらを建てたこと  2)それが旅程を行くこと  3)道しるべ-エルサレム、地の果て  3.祈り、礼拝  1)ものすごい霊的な力が祈るときに起こる  2)癒やしが、祈って礼拝する者に起こる  3)上のことを悟るサミットの祝福を受けるようになる  △ヨハ14:16、14:26、16:13祈りを分かれば、するしかない。  △サタンとの戦いは最後の戦い、ヨハ8:44、12戦略、空中の権威、地獄の背景  □本論  1.世の中が教えることができない。  1)エペ6:12目に見えないこの勢力は、政治と力、暗闇の世界の支配者など、おかしな暗闇宗教を握って動かす。  2)落とし穴、枠、罠(12戦略)  3)黙12:1-9後ほど大きい力で現れて世の中を苦しめる  2.全身の武具 これと戦うために救いのかぶと、正義の胸当て、真理の帯、信仰の盾、みことばの剣、福音の備えを履いて、いつでも祈り  3.エペ6:18いくら困難が来ても、そこに陥らずに祈り始める。祈るときに起こる奥義を体験して伝達。それゆえ定刻で、あるときは集中して、または、常時に祈る  □結論  1.金曜日には特に健康回復する日として祈りを始める  2.土-光の経済を回復するには、人材を回復すべき。これがレムナントを育てること  3.日-世の中の大統領をする必要なくて、霊的サミット世界を味わうこと。 | □序論  1.答えがない理由-答えを受けることができない座にいるため  1)Iコリ3:1-2神様の祝福を担うことができるその場にいない  2)Iコリ3:3-8肉に属する者、幼子のような者-ねたみと争い、人に従って  3)Iコリ3:9霊に属する者-私たちは神様の同労者、あなたがたは神様の畑、神様の宮  2.答えられない座から抜け出して答えの座に行かなければならない。  1)答えを受けられない座-争い、人間中心主義を使う教会、人の方に立ったり寝ている教会  2)答えの座-福音と契約で一つになった教会  3.世の中に属する者、肉に属する者が勝ったことはない。  1)世の中に属する者が勝利したことは、ただの一度もない-強大国、中世時代教会史、ジャンヌ・ダルクを殺した政治家  2)信仰者の中でも肉に属する者が勝ったことはない-ヨセフの兄たち、サウル王  3)揺れずに契約だけ握って待ちなさい。  □本論\_次世代に伝達しなければならないこと  1.神様が主人となる生活を教えなさい(6節)  1)レムナント7人の告白  (1)ヨセフ-主が王様の夢を知らせてくださる。  (2)ダビデ-主は私の羊飼い、乏しいことはない  (3)パウロ(ピリ3:7-21)  2)神様が私の主人-私は神様のこと、神様の背景、神様の力が必要  3)私の主人である神様に私の人生を任せてこそ神様が責任を負われる。  2.私たちは神様の同労者で、平和を伝達する者(9節)  1)のろいの中でいるのではなく、祝福の中にいなければならない。答えを受ける側にいるべき  2)偶像が掌握したコリント地域、紛争が起こった教会を完全に生かしたプリスカ  3.人を生かす者-あなたがたは神様の畑で、神様の宮だ(9節)  ※困難を受ける人を励まして力を受けるようにさせれば永遠に記憶  1)ヨセフ-総理になったとき、ポティファルと妻、兄たちを傷つけなかった  2)ダビデ-敵であるサウル王を助けて最後まで守った。  3)パウロ(ロマ1:16-17)  □結論  1.皆さんが持っている契約は絶対に無くならない。  1)ヨセフが総理になったという連絡を受けたヤコブ  2)モーセに教えた契約が、80年過ぎてエジプトで爆発  2.神様の方に立ちなさい  1)問題の中にいずに答えの中に、葛藤の中にいずに更新の中に、危機の中にいずにチャンスの中に入りなさい。  2)神様のこと、神様の力とその背景が皆さんに必要だ。  3.御座を動かす祈りは次世代に必ず伝えられる。 | コリント-偶像神殿がものすごい影響を与えているが教会は紛争していた。ここにパウロとプリスカ夫婦が現れた。偶像神殿にささげた物を食べると論争が起こったが、パウロは救われたあなたがたが神様の宮であり、その中に神様の聖霊がおられるので、いくらでも勝つことができるという話をしてあげたのだ。それゆえ、霊的神殿を先に建てなければならない。  祈りの力を先に回復  3年公生涯(捨てること、聖霊臨むことを約束)、40日(神の国のこと)、  10日(マルコの屋上の部屋の祈り)-一番幸せで、力を得る重要な時間、深い祝福の時間を必ず持つべき。そのとき、五旬節の日になって。  主日と今日、みことばが生かされる(使2:42)、  毎日(使2:46-47現場で成就)  定刻(時間を定めて一緒に祈り)、24・25・永遠そうすれば、信仰生活を正しくすること  △レムナントがこの力で勉強すれば、世の中に出て行く前に答えを持つようになる。重職者は、世界を見通す答えを持っているのだ。世々にわたって隠されていたことを、今や明らかにされた(ロマ16:25-27)。このやぐらから先に建たなければならない。皆さんが難しければ、助けることができる力ある者はいない。こちらに入りなさい。  □序論\_一生の答えから受けるべき。一生の問題に挑戦すべき  1.モーセ-幕屋準備　　2.ダビデ-神殿準備　　3.パウロ-世界教会を準備  □本論\_この祈り(表)を続けて、私の中に三つの神殿が先に作られるべき  1.癒やし神殿-私の中にHealing Houseが建つべき。  1)使13:5-12暗闇に捕えられた者　2)使16:16-18悪霊につかれて占う者  3)使19:8-20不治の病に関わっている者  △医師の助けを受けなければならないが、霊的なことは福音でなければならない。パウロはこれ一つをしたが、神様は千年の答えを与えられた。  2.RT神殿- RT Houseが建つべき  1)使17:1会堂へ　2)使18:4プリスカ夫婦に会って会堂へ  3)使19:8ローマに行く前に会堂へ  △心の中に世界福音化と光の経済の絵があるべき。  3.TCK神殿- TCK Houseが建つべき。  1)使13:1-5確実な導きを受けなさい。  2)使16:6-10ターニングポイントを見つけ出しなさい。門が閉ざされたのではない。  3)使19:21ローマも見なければならない。  □結論  私が答えを受ける本質J(イエス様)が語られたやぐら・旅程、道しるべを味わいなさい。  タラントの基準-237と合うべき　　職業の基準- 5000種族  △神様がくださる力を回復しなさい。人が与えることでは世界を生かすことはできないからだ。 |